

8. 中皮腫

○

○: 専門とするがん ×: 診療を実施していないがん
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○: あり ×: なし

○

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数				治療の実施状況 (○: 実施可/×: 実施不可) / 昨年実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日~12月31日			各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ					
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術	化学療法	放射線療法			ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容				
					体外照射				治療内容	治療実績	医師の専門分野		
1	肺腫瘍内科	2	2	状況	×	○	×	肺腫瘍内科では、近年増加傾向にある肺癌に代表される呼吸器腫瘍性疾患に対して、最新鋭のCTやMRI、核医学的検査等の先進画像技術の導入と気管支鏡、胸腔鏡により、診断の向上を目標とし、治療面では化学療法を中心に新規抗がん剤(保険診療内)や分子標的薬を積極的に使用しています。	ア	肺腫瘍内科	掲載あり	掲載あり	掲載あり
				実績	なし	あり	なし		イ	http://www.ramc.izumisano.osaka.io/01_sinryo/hos/haishuyo/index.html			
2	呼吸器外科	2	2	状況	○	×	×	原因不明の胸水、腫瘍中皮腫が疑われる症例に対しては、診断をはじめ、状況に応じて積極的治療も行っています。	ア	呼吸器外科	掲載あり	掲載あり	掲載あり
				実績	なし	なし	なし		イ	http://www.ramc.izumisano.osaka.io/01_sinryo/hos/r-surge/index.html			
3	放射線科	2	2	状況	×	×	○	当院は平成20年10月に、放射線治療センターが新設され、主に悪性腫瘍(がん)を対象に放射線治療をおこなっています。又、新病院開院時より、リニアックを導入し、年間約250名の治療をおこなってきました。また、エクステンナイフを用いた脳腫瘍に対する定位放射線治療や骨髄移植の前処置としての全	ア	放射線治療センター	掲載なし	掲載あり	掲載あり
				実績	なし	なし	なし		イ	http://www.ramc.izumisano.osaka.io/01_sinryo/hos/radio_tiryo/index.html			
4				状況					ア				
				実績					イ	http://			
5				状況					ア				
				実績					イ	http://			

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例: 悪性胸膜中皮腫
	悪性胸膜中皮腫